



心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	一宮町立一宮中学校	
ア 全校児童生徒数	327人	(令和4年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	対象 1・2学年 人数 1学年117人、2学年92人、合計209人	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	<p>【体育祭でのパラ競技実施】2学年 6月21日に行われた一宮中学校体育祭で、2学年の学年種目として、ボッチャ・車いすアーチェリー・ゴールボールを実施した。グラウンドでの実施だったため、正規の用具を使うことができず、手作りの用具や行い方を工夫するなどして、体育祭の競技として実施できるようにした。</p>  <p>【あすチャレ! 車いすバスケットボール体験】1学年 11月21日に日本財団法人パラスポーツサポートセンターが主催している「あすチャレ! スクール (車いすバスケットボール体験)」を実施した。元車いすバスケットボール選手の神保康広選手に講演をいただき、実際に車いすバスケットボールを体験した。生徒からは、「実際にやってみると操作が難しい」や「シュートが届かず、車いすバスケットの選手はすごい」などの声が上がった。</p>  <p>【ゴールボール体験 (保健体育科)】2学年 長生特別支援学校に協力をいただき、ゴールボール用ボールを2つ借用した。養生テープで自分の位置を確認できるように印をつけ、ゴールはコーンで簡易ゴールとした。また、ボールが足りなかった分は、バスケットボールをビニール袋で包み、ゴールボールのボールとした。生徒からは、「視界が暗い中で動くのは怖い」や「目が見えない中で激しくスポーツをするプロはすごい」など様々な意見が上がった。</p>  <p>【ボッチャ体験 (保健体育科)】2学年 長生特別支援学校に協力をいただき、ボッチャ4セットを借用した。本校でも、本事業の予算でボッチャを1セット購入した。また、もう1セットは砂場の砂と赤青白のビニールテープで手作りし、計6セットで実施した。体力等にあまり左右されないスポーツなので、どの生徒も楽しさを味わいながら競技することができた。</p>  <p>【福祉アートプロジェクト】1学年 ①福祉の学び 植草学園大学野澤教授と社会福祉法人中山様を講師に迎え、福祉</p>	

	<p>についての話を2時間展開で行った。障害者に焦点をあて、「これは障害者にあたるか？」というクイズ形式で講義が進んでいき、生徒は興味と関心をもちながら取り組むことができた。</p> <p>②造形</p> <p>アートを通じての共育活動やボーダーレスなアート活動などを行っている一宮町在住のこまちだたまお様を講師に迎え、硬い素材・薄い素材・柔らかい素材や表現を通じて、人とのかかわりについて考えるワークショップを行った。</p>	 
<p>エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりにて活動を紹介した。 ・学校ホームページに活動内容を掲載している。 ・体育祭の保護者参観で競技を観戦してもらった。 	
<p>オ 実践成果 (児童生徒の変化など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャやゴールボールなどのパラスポーツは障害の有無や性別、運動能力等に関わらず誰もが楽しめるスポーツであるため、すべての生徒が平等にスポーツに親しむことができた。 ・元パラリンピアンを招聘し、講話していただくことで、困難は工夫次第で必ず乗り越えていけるという考えを持った生徒や自分も強く生きていきたいと考えた生徒がいるなど、講演会をとおしてよりよく生きるためにはどうすればよいかを考えることができた。 	
<p>カ 次年度の予定 (課題や改善策など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一宮町でもパラスポーツ体験等の事業を行っているので、町の人とのかかわりをもっていけるよう検討していく。 ・ボッチャセットやアイマスクを購入したので、来年度も継続して保健体育科の授業や総合の学習の中で実施していく。 ・講師を招聘し、体験的な学習を取り入れていく。 	
<p>キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより ・学校ホームページ 	

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。